街かど

♥募集しています
・短歌
・俳句
・詩
・随筆
・イラスト
・写真
・まんが
・その他

♥町への意見や要望も受け付けます

♥文章は苦手というかたは連絡を、取材に行きます

♥匿名もよいです

♥投稿・連絡先は黒埼町大野2043-1 広報「街かど」係 ☎377-3101

今月の投稿

弟戦死の地サイパンへ行く

平林一太郎（下山田・73歳）

この三月、遺族会の慰霊巡拝で、弟郡次が戦死した島、サイパンへ行ってきた。以下はその記録。

三月十一日㈮。午前十時、コンチネンタル航空のジャンボ機で成田を出発。サイパン島へは現地時間で午後二時に到着。日本軍の飛行場だったのを米軍が整備したアスリート空港で、今は国際空港となっている。

ホテルで着替えてから、島の北部にある「中部太平洋戦没者の碑」に参拝する。黙祷をささげていると、自然に涙がこみあげてきて体が震えだし、立っていられなくなってしゃがみこんでしまった。同行の人たちも、目を赤くして言葉も少なかった。

三月十二日㈯。九時にホテルを出発。まず、南興神社裏の第四十二師団指令部跡で第一回の慰霊祭をする。付近には、日本統治時代の社宅や売店などが荒廃したまま残っている。

このあとアスリート飛行場脇など六か所で慰霊祭をする。

南部海岸のオブシャンビーチでは海に向かって旧日本軍のトーカチがあった。崩れてはいたが、正面のコンクリートは太い鉄筋で、厚さは八十センチくらいあったかと思う。

タナパク海岸での慰霊祭

海軍第五十五警備隊玉砕の地、タナパク海岸は弟郡次の海死の地。ようやくやってきたという感激の余り、涙がとめどもなくあふれ出て、年甲斐もなく取り乱してしまった。読経も途中でつかえてしまい、南太平洋鎮魂の歌を歌ったが、声が震えて歌にならなかった。

ガラパンの海岸第五根拠地隊指令部跡では、崩れかかった旧軍の壕があり、つる草に覆われていた。「国敗れて山河あり、城春にして草木深し」の感を強くする。

三月十三日㈰。島内唯一の湖スペ湖のほとりで慰霊祭。このスペ湖の前面が、米軍が最初に上陸したチャランカノアの海岸である。

島の北端にあるパナテル飛行場跡へ行く。旧日本軍が建設中のものであったが、未完成のまま終わったそうである。背後には、自決の断崖といわれたシーサイドクリフトがある。山づたいに退却してきた日本軍が、退路もなく、この崖から飛び降り自殺した所だそうである。山がいきなり切れたようで一七〇メートルの断崖になっている。

次に行った地獄谷は断崖と洞窟がたくさんあって、日本軍の絶好の退避場所であったようだ。昭和十九年七月六日、日本軍の首脳部が最期の時を悟り、高級将校がここでことごとく自決したという。そして、今から十年ほど前、日本の遺骨収集団がある地点を掘ったところ、たった一か所からでも約三百人の遺骨を発見することができたという。

昼食はキャピタルヒルの丘の上でとったが、日本の若い観光客がたくさんいて、食事をしたり、写真をとったり、にぎやかではなやかに見えた。これでよいのだろうか、と思わずにはいられなかった。

三月十四日㈪。今回の慰霊巡拝のしめくくりとして、自決の断崖の下の中部太平洋戦没者の碑で最後の慰霊祭を行う。

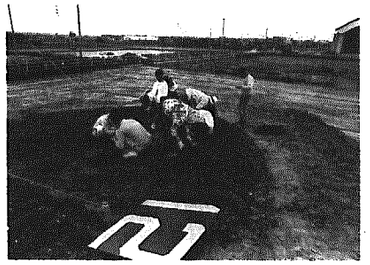
その後、島の最北端にあるバンザイクリフト（バンザイ岬）へ行く。海抜七〇メートルの断崖である。ここまで退却してきた軍人、軍属在留邦人がこの断崖に追いつめられて万策つき、祖国の空に向かって万歳を叫びながら、全員自ら海に身を投じたという。それは場合によっては自分自身であったかもしれない。

夕食は、お膳で吸い物、てんぷら、焼き魚、酢の物に漬け物までが出た。こんな遠い南のアメリカ領でのこと、少し行き過ぎではないだろうか。

三月十五日㈫。帰国の日である。午前中は自由行動だが、慰霊巡拝の旅という観念のためか、気が滅入り観光気分になれない。ホテルの自室で荷物整理などして休養する。

空港前で最後の默祷を捧げ、飛行機で帰国の途につく。

トーチカの前に立つ平林さん



体育館前に花時計

5月22日㈰、総合体育館前で花時計づくりを行いました。町道須上線や新幹線の方を向いた盛り土の上に文字盤を作り、その中に南米産のバーベナテネラを植えました。7月末ころ満開になります。（黒埼花と緑の会）

短歌

黒埼短歌会

一級の寒気北々西より吹きすさぶシベリアよりの直通という　鷲尾　聿角

わが居間に続く隣家のかど庭に季永く咲く梅を楽しむ　柏　直樹地

うす緑やさしき色の師の歌碑に紙吹雪舞うを寿ぎ目守る　泉井　ヨ子

陽だまりの砂場の中で子等二人大人の仕草まねて遊べり　笠原　セツ

遠き日の思い出にひたりいたる時うつらうつらに時早く過ぐ　渡辺　ウタ

猫柳芽吹ける今日を成人式か晴着姿の若者ら行く　小出美喜子

冬去りてやさしく咲きし雪割草花の香りのいとどゆかしき　長谷川トリ

渓に沿いかたくりの花咲く頃をなりくら荘に再び行かな　宮田　ミイ

空缶を持ちて子供ら目高追う桜に早く水温み来て　広瀬八重子

春の道塗り改えられし白線を正しく歩き小学生の行く　大谷　モト

湯上がりの孫を受取る喉かき肌むっちりとせるがいとほし　金内　セツ

亡き夫の写真に嫁は呼びかけて孫を抱き上げ近々と見す　大矢　キイ

支所勤務一年経たり道の辺の唐菜摘む人ほほえみくるる　阿部　浄子

竿売りが楽鳴らしつつ入り来しが露地の途中で引き返したり　堀内　昌江

倒れ伏すアカシアの木がつぶつぶの冬芽をつけて春来るを待つ　伊藤　一男

さめやらず時の間に浮く思影のエリカひとしく名も山に見ゆ　永田　和子

俳句

黒埼俳句会（静水選）

飛行雲消え去る彼方山笑ふ　倉橋　義雄

昔から田植えに蕪煮膳にのる　田辺　正二

春愁や同じ調べを幾度も　浅間　しげ

芦の芽に夜明けの光大河ゆく　滝沢　誠伍

草萌えて若き兵士の墓も古り　白川　代春

春耕の気だるさ妻と厳洗う　池乗清市郎

立ち読みの店の春燈あか〳〵と　斉藤　美芳

春の山七夫も掛けし岩に腰　木下　富代

賑やかに早乙女植えて立ち去りぬ　大橋　とり

鯉のぼり飛行機雲の孤のなかに　笠原　丈雄

春神の坪たしかに春の潮　高橋　睦治

千しかぶの筵広げて春日追ふ　菊地八重子

無住寺の扉はかたく日脚伸ぶ　小泉　翠

釣竿の先ゆっくりと花筏　長谷川一定

おぼろなる白蓮花の暮れ切れず　斉藤　モト

ブランコにまで布団干す五月晴れ　神原　孝子

顔なじみ句会ゆかしき良夜かな　小林とし松

空豆の花芽に宿る朝の露　佐藤　キン

水ぬるむほとりに並ぶ苗市場　今井　千代

歳時記　アジサイ

うっとおしい梅雨どきに、華麗な色彩の変化を楽しませてくれるアジサイは、最近人気上昇中の花のひとつです。四月に入ると、温室で育てた鉢植えが花屋の店頭に姿を見せ、露地ものは六月から七月にかけて花を咲かせます。

アジサイの花の花びらと見えるもの、あれは実は花びらではありません。がくといって、本来の花びらの外側にあるものが、あのように大きく色づいたものなのです。

アジサイが、最近、観光客の人気を集めている理由は、観光的にはオフシーズンの梅雨どきに咲き、雨の中でかえって風情があるためでしょう。アジサイは、さし木で手軽に増やせるので、各地で〝アジサイ寺〟や〝アジサイ園〟が名乗りをあげています。また〝参加観光〟ブームに乗って、観光客にさし木をしてもらい、アジサイ街道づくりなどをやっている所もあります。

黒埼町の近くでは南蒲田上町の護摩堂山頂のアジサイがよく知られています。黒埼町でも信濃川大橋のたもとの北側の横江東部ポンプ場のアジサイがみごとです。六月半ばころに満開になります。

漢詩

萩野覚心

命朝露如　めいちゅうろのごとし

年命朝露知哀躬　ねんめいちょうろのごときみをかなしむ

尸素羞致仕七充　しそをはじらしてしちねんにみつ

誠知老来風情少　まことにおいきたればふぜいのすくなきをしる

親故凋零四面空　しんこちょうれいしめんむなし

東韻　拗　體

※朝露…人生のむなしさにたとえることば　尸素…功労もないのに官職について棒禄をうけること　致仕…官職を辞すること　風情…物のあわれ、ようす　親故…親戚や旧友　凋零…死亡すること

外来語豆辞典⑱

編集協力・中学通り自治会

【モ】モデル…模型　モニター…頼まれて商品などの意見を述べる人　モニュメント…記念碑　モノクロ…白黒写真　モノトーン…単調　モノラル…ステレオと違って一つのスピーカーで音を再生するもの　モノローグ…独白　モラトリアム…猶予期間　モラル…道徳　モルモット…実験に使われる動物　モンキー…猿　モンスター…怪物　モンタージュ…多数の材料を組合わせて一つの画面を作ること　【ヤ】ヤード…長さの単位、約91センチ　ヤッケ…雨具　ヤング…若い　【ユ】ユーザー…自動車などの使用者　ユートピア…理想郷　ユーモア…緊張を和らげるおかしさ　ユニーク…独特の、特異な　ユニオン…労働組合　ユニバーシティー…総合大学　ユニフォーム…制服　【ラ】ラード…ぶたからとった油　ライス…ごはん　ライセンス…免許証、証可証　ライター…たばこの火をつける道具：作家　ライダー…オートバイなどに乗る人　ライト…灯火：軽い：右　ライナー…直線状に飛ぶ打球　ライバル…競争相手　ライフ…生活、生命

あなたが生かす均等法

6月は男女雇用機会均等月間

「男女均等取り扱い」実現のために
○企業は女子労働者が意欲と能力を十分発揮できる環境づくりのため、積極的に雇管理の見直し・改善を。
○女子労働者自身が職業能力の開発と職業意識の向上に努めましょう。
※均等法の問い合わせ・相談は新潟婦人少年室（☎266―0047）へ

正しく使おう みんなの電波

ハイパワー市民ラジオや不法コードレス電話の使用はテレビ・ラジオの受信妨害をひきおこします。電波はルールを守って、正しく使いましょう。